

▽除雪センターとは？

「はい、除雪センターです。はい、家の前に雪を置かれると困るといことですか…」、「ええ、周りに比べて自分の所だけ雪がたくさん積まれていくということですね…」。

「ここは、南区のとある除雪センター。雪が多く降った翌日は、1日100件以上の電話が寄せられることもあります。地域によって降雪量に違いのある札幌市では、連合町内会などの地区単位（ゾーン）ごとに除雪センターを設置。」

「雪の堆積場所が限られているところが、除雪の難しいところですね」と、藻岩・南沢地区除雪センター長の高橋宏昌さん（たかはし ひろむね）は話します。皆さんが除雪する際、自分の家の周りの雪山が高くなる



複数の除雪事業者が連携して、除雪作業の問い合わせの対応や道路の除雪、凍結防止剤散布などを実施しています。これによって、地域の道路状況



▲除雪センター外観

にに応じた除雪に対応。毎年、降雪が始まる12月から翌年の3月まで、24時間体制で業務を行っています。

▽除雪は「あちらを立てれば、こちらが立たず」

「雪の堆積場所が限られているところが、除雪の難しいところですね」と、藻岩・南沢地区除雪センター長の高橋宏昌さんは話します。皆さんが除雪する際、自分の家の周りの雪山が高くなる

と、「いったいどこに雪を捨てればいいのか」と困った経験はありませんか。実は、除雪センターも、同じ悩みを抱えながら業務に当たっています。



▲藻岩・南沢地区除雪センター長 高橋宏昌さん

「あちらを立てれば、こちらが立たず」です。道路を広げると堆積場所が狭くなり、雪山が高くなってしまいますし、堆積場所を広げると道路が狭くなってしまいます。積雪の多い時期には、多くの皆さんにご迷惑をお掛けしますが、バランスを考えて作業を行うていきますので、皆さまのご理解をお願いいたします」と協力と呼び掛けます。

除雪した雪の堆積場所は、主に道路脇の歩道と車道の一部です。しかし、一定の車線を確保しなければならぬので、車道への堆積には限界があり、さらに歩道も確保しようとする場合には、歩道への堆積も限られます。また、幹線道路などの店舗では、利用者のために間口を広く取る傾向があります。こうした場所に全く雪が置けなくなると、堆積場所はさらに限られてしまいます。高橋センター長は「除雪は『あちらを立てれば、こちらが立たず』です。道路を広げると堆積場所が狭くなり、雪山が高くなってしまいますし、堆積場所を広げると道路が狭くなってしまいます。積雪の多い時期には、多くの皆さんにご迷惑をお掛けしますが、バランスを考えて作業を行うていきますので、皆さまのご理解をお願いいたします」と協力と呼び掛けます。

除雪センターの1日

<p>早朝</p> <p>○車道除雪</p> <p>通勤・通学時間に間に合うように急ピッチで作業を行います</p>	<p>深夜</p> <p>○巡回パトロール</p> <p>路面の凸凹やわだち、圧雪の状況などを確認します</p>	<p>日中</p> <p>○歩道除雪</p> <p>安全を確保する誘導員は厳寒の中、10km以上歩きます</p>	<p>○横断歩道付近の除雪</p> <p>機械では細かい作業ができないため、手作業で行います</p>	<p>○気象予報情報収集・ミーティング</p> <p>最新の降雪状況や予報などを情報収集。巡回パトロールで確認した路面状況の情報と併せて、除雪出動の可否や出動時刻、作業内容を決定します</p>
---	--	--	--	--